建築福岡Quarterly 2026 Winter
No.105

一般社団法人　福岡県建築士事務所協会
TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278
https://www.f-aa.jp E-mail：info@f-aa.jp

目次　-Contents-

1 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技　結果報告 …… 2
2 令和７年度 建築士事務所キャンペーンのご報告 …… 10
3 令和７年度　日事連九州・沖縄ブロック協議会第１回会長会議報告 …… 11
4 令和7年度 九州・沖縄設計４団体セミナー・懇談会報告 …… 12
5 第４７回建築士事務所全国大会（新潟大会）参加報告 …… 13
6 青年話創会2025　新潟大会参加報告 …… 15
7 女性交流会2025　新潟大会参加報告 …… 15
8 訃　報 …… 16
9 会議のご報告 …… 17
10 各支部・地域会よりお知らせ …… 21
11 会員動静 …… 26
12 役員さんの徒然雑記 …… 27

1 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技　結果報告

令和7年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。今年は高等学校の部5校より計59作品、専門学校の部3校より計54作品のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式・展示会が11月12日にコスメイト行橋にて行われました。

また令和7年11月25日～ 11月28日には福岡市役所１階市民ロビーにおいて作品の展示会を開催致しました。

経　過

令和７年　４ 月３０日…… 関係校へ課題を通知、応募期限を９月３０日とする。
６ 月１８日～８ 月 ８ 日
…… 広報・渉外・教育・研修委員による出前授業を実施。
９ 月３０日…… 提出校、高等学校の部５校５９作品、専門学校の部３校５４作品。
１０月 ６ 日…… 応募作品の課題条件の適合について予備審査を実施。
１０月 ７ 日…… 審査員が集合し本審査を開催。得点方式にて受賞候補作品を選出、議論を重ねた結果、各賞が決定。
１１月１２日 …… コスメイト行橋において表彰式を開催。作品展示会を開催。
１１月２５日～１１月２８日
…… 福岡市役所１階市民ロビーにおいて作品展示会を開催。

審査委員名

- 【審査委員長】岡田 知子 岡田知子建築設計室 代表（西日本工業大学 名誉教授）
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市都市戦略局長
- 福岡市住宅都市みどり局長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長
- (公社)福岡県建築士会会長
- (公社)日本建築家協会九州支部長
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

協　賛

- （一財）福岡県建築住宅センター

後　援

- 福岡県
- 福岡県教育委員会
- 北九州市
- 福岡市
- (公社)福岡県建築士会
- (公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

令和7年度の建築設計競技は高等学校の部で59 作品、専門学校の部で 54 作品のご応募をいただきました。主催者側を代表し、ご応募いただきました皆様に感謝申し上げます。

今年度は「空間をシェアする」を共通テーマとして、高等学校の部では「住まいのシェア」、専門学校の部では「地域のためのシェア空間」という課題でした。

「空間をシェアする」という概念が実世界に浸透し、ライフスタイルが「所有から共有へ」シフトする中、様々な観点や側面から空間・建築について考えることは重要な意義を持つと言えるでしょう。

単一の用途や機能を有する空間・建築の提案は次世代を担う生徒・学生の皆様にとっては難しくも興味深い課題だったのではないでしょうか。どの作品も若い視点からの魅力あふれる提案が盛り込まれており、これからの世界のあり方そのものが変わっていく予感が感じられました。

学校行事や就職活動等でお忙しい中、多数の作品をお寄せいただき、生徒・学生の皆様の努力に深く敬意を表します。また熱心にご指導いただいた各学校様・先生方に深く感謝申し上げます。ぜひ来年度以降も本建築設計競技にご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に課題作成等多岐にわたりご協力いただきました岡田審査委員長をはじめ、ご支援いただきました関係諸庁、各団体の皆様に心より御礼申し上げます。

（一社）福岡県建築士事務所協会　広報・渉外・教育･研修委員会
委員長　髙桑　圭輔

令和7年度　建築設計競技

高等学校生の部・専門学校生の部共通テーマ　『 空間をシェアする 』

計画趣旨

現代社会においてコワーキングスペースやシェアハウスといった「空間をシェアする」試みは都市部を中心に広く普及し、私たちの日常に定着しつつあります。さらに近年では地方都市や農村地域においても未利用スペースや空き家を有効活用し、地域活性化に寄与する動きが数多く見られるようになりました。こうした空間のシェアは単なる場所の共有にとどまらず、社会的な課題解決や新しいコミュニティの形成に大きな役割を果たしています。

こうした動きの背景には単身世帯の増加や高齢化、働き方の多様化といった社会構造の変化が挙げられます。また、経済的な観点からもコスト削減や効率化への志向が強まる一方で、ライフスタイルそのものも「所有から共有へ」という方向にシフトしています。

また、環境面でも空間のシェアは大きな意義を持ちます。建築を新たに建てるのではなく既存の建物や空間を再利用することは建材やエネルギー資源の効率的な利用にもつながり、持続可能な社会の実現に貢献します。建築が果たすべき役割は単に「新しい空間をつくること」ではなく「既にあるものをどのように活かすか」そして「空間の使われ方そのものをどうデザインするか」へとシフトしています。

加えて、建築に求められる機能はかつてよりも複雑で重層的になってきました。住まう、働く、学ぶ、遊ぶ、集うといった行為がかつてのように場所ごとに分けられるのではなく同じ空間の中に共存することが求められる場面が増えています。これまでの近代にみられる単一用途のビルディングタイプでは現代のニーズを満たすことが難しくなってきているのです。

本課題ではこうした社会的、経済的、環境面の文脈をふまえ「空間をシェアする」という行為を建築的にどう解釈し、どう具体化するかを問います。そして、こうした行為を通じて現代社会が抱えるさまざまな課題へのアプローチを試みることを求めます。

対象地域は各自が設定し、その地域ならではの文脈や課題を読み取ることから始めてください。過疎化、空き家問題、孤独、居場所の不在、地域経済の停滞などその地域の課題に向き合い、「空間をシェアする」ことがどのような解決の糸口となりうるのか自らの建築的視点を通して構想してください。

「空間をシェアする」という行為は人と人の関係性を変え、地域や社会のあり方にまで影響を与える可能性を秘めています。この設計課題を通じて建築が「形を与える」だけでなく「関係をつくる」ものであることを実感し、未来の建築のあり方を大胆に提案することを期待します。

高等学校の部

令和７年度　課 題

住まいのシェア

計画趣旨

家族以外の他者と空間をシェアする住まいを提案して下さい。ここでは二世帯住宅も狭義の意味では住まいをシェアすると考えてよいとします。

まず、立地する場所や環境、どのような背景を持つ人物が何人で共に生活するのか具体的に想定してください。また、プライベートな空間とシェアする空間の関係を明確にし、それぞれがどのように影響し合うかを空間的に表現してください。

「住まいをシェアする」とはどういうことか、その意味を考え、空間化してください。

計画条件

■ １）敷　地

- ●面　　積……問わない。
- ●用途地域……指定なし。

■ ２）建　物

- ●延床面積……問わない。
- ●構造・階数……問わない。
- ●そ の 他 ……建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。
  駐車スペースは有無も含めて適宜判断で良い。

■ ３）提出図面

- ●用　　紙……当協会配布のケント紙（Ｂ２サイズ）１枚を使用し横使いとするが、
  サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- ●提出内容・計画主旨
  ……提案に相応しいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現すること。
  - ・配 置 図　縮尺適宜
  - ・平 面 図　１：５０～１：１００
  - ・立 面 図　１：５０～１：１００
  - ・断 面 図　１：５０～１：１００
  - ・敷地説明　設定敷地が判る地図および周辺を含めた敷地写真を添付すること。
    必ず現地を訪れ、敷地周辺が判るように自身が撮影すること。
    （敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
  - ・必要と思われるもの　（パース、模型写真、ダイヤグラムなど適宜判断のこと。）

- ●条　　件……提出物の表現方法は問わないが、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線（面積が計算できる程度）、室名を記入すること。

※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断すること。



専門学校の部

令和７年度　課 題

地域のためのシェア空間

計画趣旨

地域の人々が共に利用できるシェア空間を計画してください。具体的にはその場所や地域の実情に応じて提案してください。

シェア空間は偶然の出会いや多様な価値観の交差点であり、ひとつの空間が複数の使われ方や意味を持つことができるよう柔軟で開かれた設計が期待されます。「空間をシェアする」という建築的行為がどのようにして社会をより豊かで持続可能なものへと変えていけるのか。皆さんの創造力と構想力に基づく、自由で力強い提案を期待します。

計画条件

■ １）敷　地

●面　　積……問わない。
●用途地域……指定なし。

■ ２）建　物

●延床面積……問わない。
●構造・階数……問わない。
●そ の 他 ……建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。
駐車スペースは有無も含めて適宜判断で良い。

■ ３）提出図面

●用　　紙……当協会配布のケント紙（Ｂ２サイズ）１枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。

●提出内容 ・計画主旨
……提案に相応しいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現すること。

- 配 置 図　縮尺適宜
- 平 面 図　１：５０～１：２００
- 立 面 図　１：５０～１：２００
- 断 面 図　１：５０～１：２００
- 敷地説明　設定敷地が判る地図および周辺を含めた敷地写真を添付すること。
必ず現地を訪れ、敷地周辺が判るように自身が撮影すること。
（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
- 必要と思われるもの　（パース、模型写真、ダイヤグラムなど適宜判断のこと。）

●条　　件……提出物の表現方法は問わないが、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線（面積が計算できる程度）、室名を記入すること。
※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断すること。



応募総数・入選者一覧

高等学校の部

応募校と応募数

有明工業高等専門学校（１年～３年）	〃	４５作品
浮羽工業高等学校	〃	２作品
田川科学技術高等学校	〃	１作品
戸畑工業高等学校	〃	４作品
博多工業高等学校	〃	７作品
計　５校		５９作品

個人賞

●知　事　賞……	有明工業高等専門学校	３年	小井手　結愛	
●福岡県教育委員会賞……	有明工業高等専門学校	３年	西山　柑奈	
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞 ……	有明工業高等専門学校	３年	水島　悠月	
●会　長　賞……	戸畑工業高等学校	３年	富田　衣織	
●（公社）福岡県建築士会会長賞 ……	有明工業高等専門学校	３年	中島　朋也	
●（公社）日本建築家協会九州支部長賞 ……	有明工業高等専門学校	３年	原口　玲華	
●優　秀　賞……	有明工業高等専門学校	３年	緒方　杏	
〃	有明工業高等専門学校	３年	山路　にこ	
●佳　　作……	有明工業高等専門学校	３年	中野　夏女	
〃	有明工業高等専門学校	３年	廣瀬　梨乃	
●奨　励　賞……	戸畑工業高等学校	３年	豊福　優薫	
〃	田川科学技術高等学校	２年	三浦　海梨	
〃	浮羽工業高等学校	３年	金子　頼兎	
〃	博多工業高等学校	３年	森田　有桟	※敬称略/順不同

団体賞

有明工業高等専門学校

専門学校の部

応募校と応募数

麻生建築＆デザイン専門学校	作品数	３９作品
九州職業能力開発大学校	〃	７作品
福岡建設専門学校	〃	８作品
計　３校		５４作品

個人賞

●知　事　賞……	麻生建築＆デザイン専門学校	２年	倉住　理子	
●福岡県教育委員会賞……	麻生建築＆デザイン専門学校	２年	中間　亮吾	
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞 ……	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	朝隈　瑠南	
●会　長　賞……	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	川本　雅子	
●（公社）福岡県建築士会会長賞 ……	福岡建設専門学校	２年	椋木　弘斗	
●（公社）日本建築家協会九州支部長賞 ……	麻生建築＆デザイン専門学校	２年	林田　似唯菜	
●優　秀　賞……	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	浦　　恒慈	
〃	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	藤田　穂太	
●佳　　作……	九州職業能力開発大学校	２年	山田　愛乃	
〃	麻生建築＆デザイン専門学校	２年	松迫　夕希代	
●奨　励　賞……	九州職業能力開発大学校	２年	志方　俊介	
〃	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	棚町　ミリ	
〃	麻生建築＆デザイン専門学校	１年	谷口　輝	※敬称略/順不同

団体賞

麻生建築＆デザイン専門学校

審査講評

審査委員長　　岡田 知子

共通テーマ　『空間をシェアする』

高等学校の部 課題：『住まいのシェア』

専門学校の部 課題：『地域のためのシェア空間』

今年度の共通テーマである「空間をシェアする」に対して、地域の課題に真摯に向き合い、その地域ならではの文脈を読み取りながら、自らの視点で解決策を構想し、提案した作品が多く見られたことはとても良かったと思います。各提案からは「空間をシェアする」という行為は人と人の関係性を変え、地域や社会のあり方にまで影響を与える可能性があることを深く考えさせられ、建築が「形を与える」だけでなく「関係をつくる」存在であるということをあらためて認識させられました。

また、商店街をテーマにした作品が少なくなかったことから、地方における商店街の空洞化が依然として深刻な社会問題であることを実感しました。人口減少、経営者の高齢化と後継不足、さらにはネット市場の拡大など、複合的な要因によって生じるこの問題は容易には解決できるものではありませんが、果敢にチャレンジし、新しい可能性を探ろうとした姿勢は大いに評価できます。

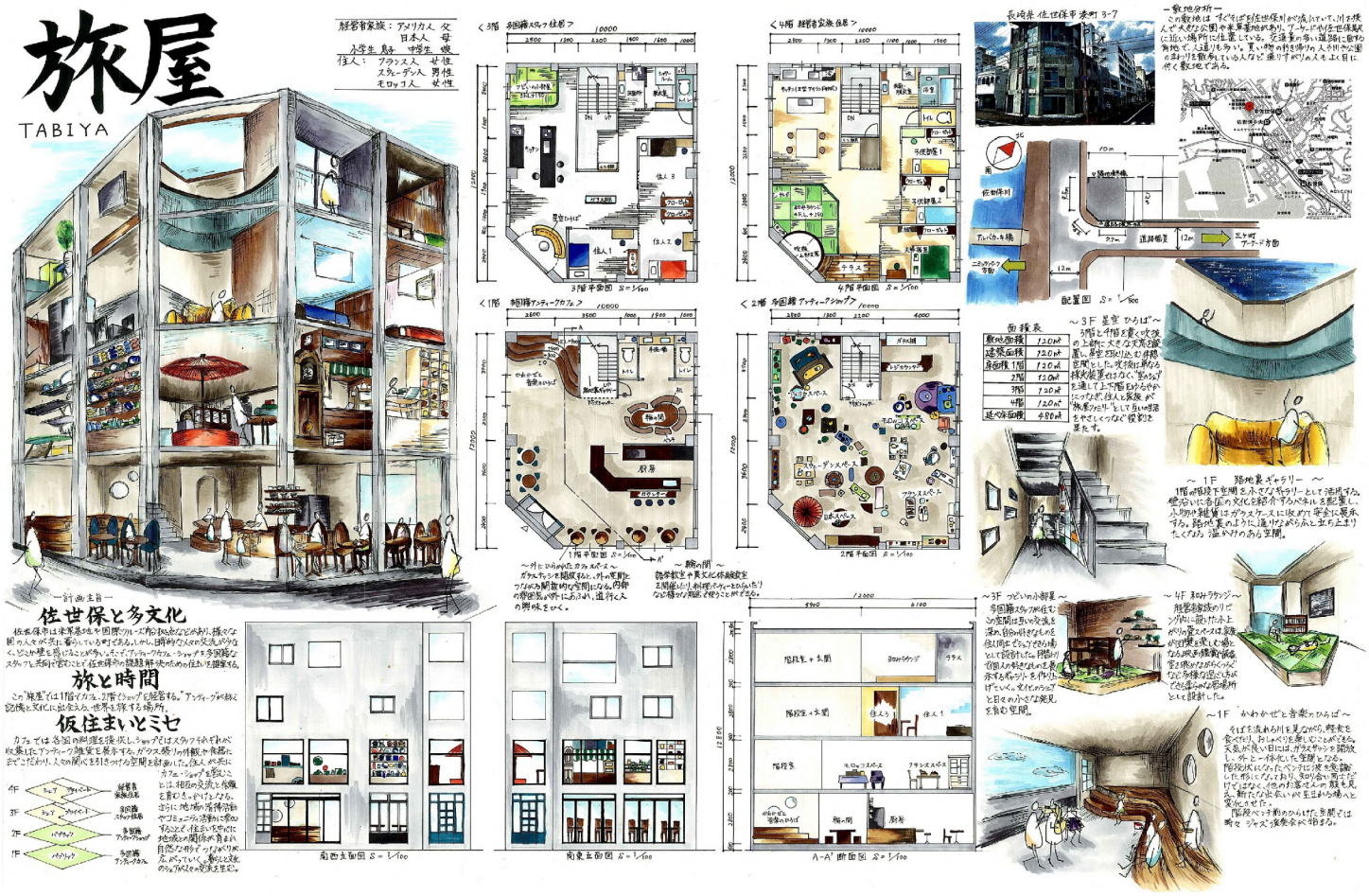
特に、高校生の部は「住まいのシェア」というテーマであったためか職住一体の提案が多く見られました。これは価値観の変化とライフスタイルの多様化、そしてコロナ禍以降のリモートワークの普及など、現代の社会的背景を的確に反映した傾向であるといえます。考えてみれば前近代において職住一体の住まいはごく普通でしたが、近代化の過程で次第に姿を消していきました。近代化とは言い換えれば機能の分離と純化を進めるプロセスでした。住空間でいえば食寝分離、公私室分離が近代的な住生活とされ、同様に働く空間も生活空間から切り離されました。家庭内で行われていた冠婚葬祭などの様々な行為も外に出て、住宅は専用化していきました。こうした近代化は住宅にとどまらず建築全般に広く及んでいったといえます。

高度化、複雑化、多様化する現代社会において建築に求められる機能はかつてよりも複雑で重層的になっています。これまでの近代的な思考の枠組みでは現代のニーズに十分応えることが難しくなってきていると感じます。今まさに建築の役割や社会的意義が問い直されている過渡期にあると思います。今回の「空間をシェアする」というテーマはそのことを改めて考える貴重な契機となりました。

最後に、このテーマを的確に理解し、生徒、学生たちの創造的なとり組みを支えてくださった先生方に心より感謝いたします。

受賞作品紹介　― 高等学校の部 ―

知事賞　小井手　結愛（有明工業高等専門学校　３年）



講　評

港町佐世保は多国籍の人々が行き交う町のため、多様な人々との交流を図り地域のコミュニティ形成に寄与すべく、多国籍なスタッフと共同で営むショップと住居を提案しています。カフェで提供される各国の料理とアンティークショップの多国籍雑貨が世界を旅するかのような時間を楽しめる仕掛けとなっていて、タイトルも含め一枚の作品としてきれいにまとめられています。



受賞者コメント

　このたびはこのような賞をいただき、本当に嬉しく思います。設計競技を開催していただいた主催者様、日頃よりご指導くださった先生方に心より感謝いたします。試行錯誤を重ねる中で、建築を考えることの難しさと同時に、楽しさを強く実感しました。

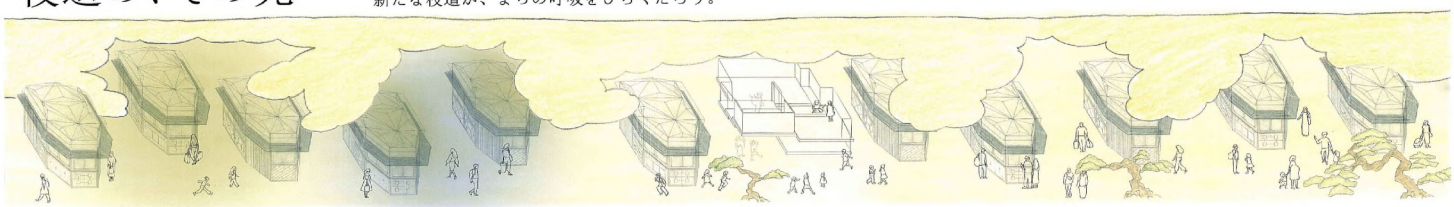
　この受賞を励みに、これからも建築を楽しむ気持ちを大切にしながら、学び続けていきたいと思います。

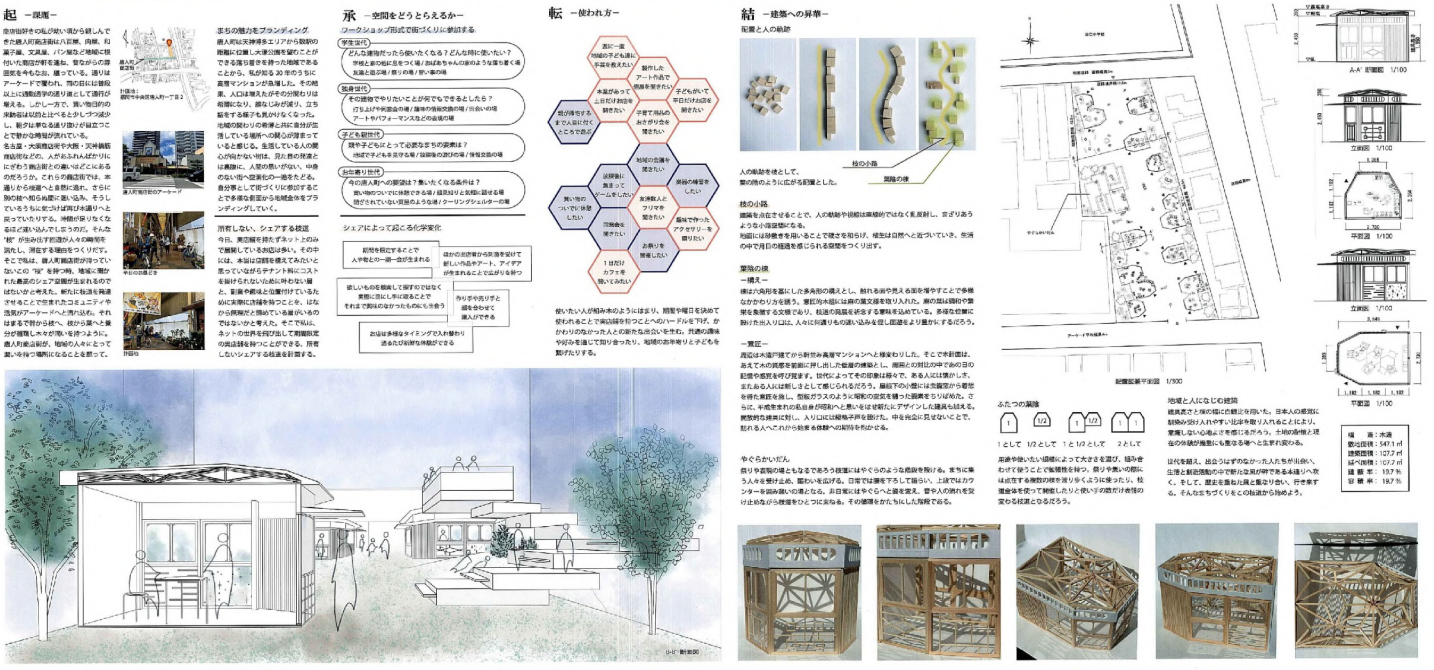
受賞作品紹介　― 専門学校の部 ―

知事賞　倉住　理子（麻生建築＆デザイン専門学校　２年）

枝道の、その先へ

アーケードの記憶と未来への潤いが循環する。
新たな枝道が、まちの呼吸をひらくだろう。





講　評

買い物客が減少したと感じる慣れ親しんだ商店街について課題を分析し、その解決策として地域に開かれた枝道を創ることで街の魅力を高めるという提案を導き出し、さらにその枝道をシェアする空間としてその仕組みを具体的に提案し、わかりやすく１枚のシートにまとめ上げた点が高く評価されました。



受賞者コメント

この度は栄誉ある賞をいただき、ありがとうございます。

シェアとは何か。難しいテーマでしたが、自分なりに考えつくし形にできたこと、そのこだわりや表現を評価していただけたことを嬉しく思っています。

共に毎日勉強に励み、互いに鼓舞しながら楽しくも苦しい時間を過ごしている仲間や、私たちの熱量に全力で応えてくださった全ての先生方にも、心から感謝しております。

2　令和７年度 建築士事務所キャンペーンのご報告

■日　時　令和７年11月12日(火)12：00 ～ 17：00

■会　場　コスメイト行橋
（福岡県行橋市中央１丁目９-３）

■主　催　一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

■共　催　一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会



《第一部　基調講演》12：30 ～14：00（来場者68名）
「木挽棟梁のモノサシ～日本の森林は宝の山～ 」
講師　杉岡　世邦　氏
・有限会社杉岡製材所　代表取締役社長



《第二部　福岡県内高等学校生並びに専門学校生による
建築設計競技表彰式・作品講評会》
14：30 ～17：00（来場者105名）

課題
▶高校生の部
『住まいのシェア』
▶専門学校生の部
『 地域のためのシェア空間 』

※受賞作品は11月12日(火)にコスメイト行橋に展示、
11月25日(火)～11月28日(金)まで福岡市役所１階
多目的スペースに展示いたしました。







◎ 懇親会(参加者 43名)

■日　時　令和７年11月12日(火) 18:30～20:30

■会　場　料亭 金龍（行橋市宮市町6-3）



3 令和７年度　日事連九州・沖縄ブロック協議会 第１回会長会議報告

◆ **日　時**　令和７年１１月１４日（金）午後２時００分～午後５時００分

◆ **会　場**　リファレンス駅東ビル２階

◆ **出席者**　福岡会４名、佐賀会２名、長崎会１名、熊本会３名、大分会２名、宮崎会１名、鹿児島会１名、沖縄会５名

◆ **協議事項**

① 各単位会提出協議事項
② 九州・沖縄ブロック協議会　情報共有事項シート
③ 第２回会長会議・事務局会議の開催日程調整
④ 令和８年度九州・沖縄ブロック協議会通常総会等の日程
⑤ その他









4 令和7年度 九州・沖縄設計４団体セミナー・懇談会報告

◆ **日　時**　令和７年１０月２０日（月）　１４：００ ～ １６：３０
◆ **会　場**　共創館カンファレンス　Ｃ会議室
◆ **出席者**　（公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、
（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築構造技術者協会
の各単位会、支部、地域会等の２８団体より３７名参加

令和7年10月20日（月）、共創館カンファレンスにおいて「令和7年度九州・沖縄設計4団体セミナー・懇談会」が開催されました。本会には、九州・沖縄の設計4団体から、28団体、計37名が参加しました。
今回の司会進行は、長崎県建築士会が担当しました。

セミナーでは、実務に直結する以下の3つのテーマについて発表と解説が行われました。

1. 鹿児島県教育会館の再生と解体について。／JIA鹿児島地域会
2. 改正建築物省エネ法の概要と実務上の注意点。／（株）エネ・グリーン
3. 2025年4月1日に施行された「建築基準法」の主な改正点における、実務の現状と問題点と」今後の展望課題について。／（一財）福岡県建築住宅センター

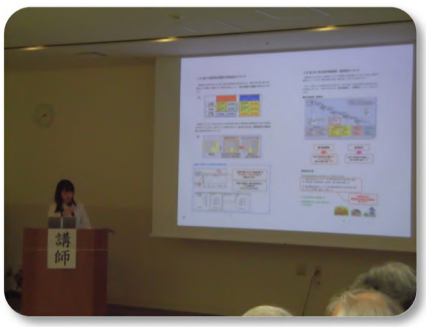
特に法改正後の現場における具体的な問題点について、参加者の間で認識が共有されました。

続く懇談会では、各県、各団体が抱える課題や今後の展望について活発な意見交換が行われました。主な議題は以下の通りです。

- 災害対策と供給体制：熊本県以外の地域における木造応急仮設住宅の供給体制の構築や、地震発災時の応急危険度判定士への連絡方法、登録更新の仕組みについて議論されました。また、九州・沖縄設計4団体災害ネットワークの情報確認も行われました。
- 人材確保と実務環境：業界全体の課題である今後の人材確保や、適正な業務報酬のあり方について意見が交わされました。
- BIMの普及状況：現在の設計事務所におけるBIM導入シェアについても関心が寄せられ、情報交換が行われました。

最後に、次年度の幹事および担当事務局についての確認が行われ、閉会となりました。九州・沖縄エリアの設計4団体が連携し、法改正への対応や災害時支援のネットワークを強化していくことの重要性が改めて示された会議となりました。







5 第４７回建築士事務所全国大会（新潟大会）参加報告

基調講演・大会式典・記念パーティー

■大会テーマ　次世代に繋ぐ　環境と調和
■大会スローガン　自然豊かな越後の地で地域社会と空間を考える
■開 催 日　令和７年１０月３日（金）
■会　　場　朱鷺メッセ １階 展示ホールＢ
朱鷺メッセ ２階 メインホール（記念パーティ）

■大会式典

９：４０～	受付開始、日事連建築賞作品店等
１３：００～１４：３０	基調講演「建築士の責任」 山本理顕氏（建築家、山本理顕設計工場）
１４：４５～１６：３０	大会式典 開会宣言／国歌斉唱／建築士事務所憲章朗読／ 来賓紹介／単位会紹介／歓迎挨拶／日事連会長挨拶／ 来賓祝辞／建築賞審査講評／表彰／青年話創会報告／ 女性交流会報告／祝電披露／大会宣言／ 第４８回開催地会長挨拶／大会旗伝達／閉会宣言
１７：００～１８：３０	記念パーティ 歓迎挨拶／来賓祝辞／乾杯／歓迎アトラクション／ 第４８回開催地ＰＲ（京都会）

■福岡会参加人数　福岡地域会９名、北九州支部７名、県南支部６名、筑豊支部２名
合計２４名参加








福岡会参加者懇親会

■日　　時
令和７年１０月３日（金）１８：３０～２０：３０

■会　　場
いかの墨　新潟駅前店

■福岡会参加人数
福岡地域会５名、北九州支部７名、県南支部６名、
筑豊支部２名
合計２０名参加



レポート

令和７年１０月３日（金）、新潟市の「朱鷺メッセ」において、「次世代に繋ぐ　環境と調和」を大会テーマに掲げた第４７回建築士事務所全国大会（新潟大会）が開催されました。自然豊かな越後の地で、地域社会や次世代を担う人、そしてそれらをつなぐ建築のあり方を考える貴重な機会となりました。

午後のプログラムは、建築家の山本理顕氏（山本理顕設計工場）による基調講演「建築士の責任」で幕を開けました。

続く大会式典では、建築士事務所憲章の朗読や日事連会長挨拶、建築賞の審査講評および表彰が行われました。また、青年話創会や女性交流会の活動報告も行われ、全国の建築士事務所が直面する課題や未来への展望が共有されました。式典の最後には、次回の第４８回大会開催地である京都会の会長挨拶と大会旗の伝達が行われ、盛況のうちに閉会しました。

式典後には同会場のメインホールにて記念パーティが開催され、歓迎アトラクションや次回開催地である京都会のＰＲなどが行われ、全国から集まった参加者との交流を深めました。

福岡会からは、福岡地域会（９名）、北九州支部（７名）、県南支部（６名）、筑豊支部（２名）の計２４名が参加しました。大会終了後には、新潟駅前の「いかの墨」にて福岡会の参加者懇親会を開催しました。

２０名が参加したこの懇親会では、新潟の食を楽しみながら、会員同士の結束をより一層強めることができました。

今回の大会で得た知見や交流を、今後の福岡会及び各地域での活動に活かしていく所存です。

6　青年話創会2025　新潟大会参加報告

■テーマ　いま、そして次世代へつなげる建築士事務所のカタチ

■開 催 日　令和７年１０月２日（木）

■会　　場　万代シルバーホテル

■プログラム　１４：００～１７：００
開会／日事連会長挨拶／ブロック青年部活動報告／
テーブル討議及び発表／総括／来年度の開催に向けて／閉会

１７：３０～１９：００　懇親会開催／乾杯／閉会

■福岡会参加人数　福岡地域会４名

7　女性交流会2025　新潟大会参加報告

■テーマ　「輪・話・和　わたしたちの未来をつなぐもの」

■開 催 日　令和７年１０月３日（金）

■会　　場　朱鷺メッセ ３階 中会議室３０１

■プログラム　１０：００～１２：３０
開会／挨拶／交流会前半：今日の流れの説明／
ブロック毎のプレゼンテーション作成／プレゼンテーション発表／
新潟会より京都会へ引継ぎ／写真撮影／会場の移動／
交流会後半：食事をしながらの自己紹介及び意見交換／閉会挨拶

■福岡会参加人数　福岡地域会２名、北九州支部２名、県南支部１名　合計５名参加

8　訃　報

県南支部　荒木 良三　様(有)荒木設計事務所)

元副会長で県南支部会員である(有)荒木設計事務所　会務代表者の荒木良三様が
令和7年12月に永眠されました。
荒木様におかれましては、副会長として協会運営にご尽力をいただきました。
ご冥福をお祈りし、ここに謹んでお知らせ申し上げます。

9 会議のご報告

令和７年度　第７回常任理事会報告

日　時　令和７年１０月１４日（火）１３：３０ ～ １５：００
会　場　一般社団法人 福岡県建築士事務所協会事務局（ＺｏｏｍによるＷｅｂ会議併用）
出席者　会長、副会長、常任理事、事務局９名参加

議　題

１．前回議事録の確認

２．協議事項

■〔１〕令和7年度建築士事務所キャンペーン進捗状況について
■〔２〕令和7年度高・専門学生コンペ審査結果について
■〔３〕インスペクションの促進について
■〔４〕令和7年度九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催について
■〔５〕令和7年度九州・沖縄設計4団体懇談会について
■〔６〕福岡建築倶楽部BIM推進協議会開催予定について
■〔７〕日事連からの建築物木材利用促進協定締結に関するご協力のお願いについて
■〔８〕建築基準整備促進事業のテーマ（事業課題）の提案募集について（国土交通省より）
■〔９〕日事連サービス専門家相談サービス　WEB説明会について（10/20　10時開催）
■〔10〕その他

３．報告事項

■〔１〕第47回建築士事務所全国大会（新潟大会）関係報告
■〔２〕令和7年度大阪・関西万博研修ツアー開催報告
■〔３〕日事連からのダンピング対策の推進についての資料提供について
■〔４〕講習会、研修会開催報告、実施予定について
・令和7年度「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」
・法定講習（建築士定期講習・管理建築士講習）
・令和7年度「適合証明技術者」登録・講習
・令和7年度既存住宅状況調査技術者講習（新規・更新）
・【国土交通省補助事業】令和7年度建築物省エネ法講習（小規模非住宅建築物設計者用）
■〔５〕委員会、部会関係報告
・事業・住宅委員会
・女性部会
■〔６〕福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
■〔７〕日事連九州・沖縄ブロック協議会関係報告
■〔８〕日事連関係報告
■〔９〕その他

４．そのほか

■〔１〕次回会議等日程
■〔２〕その他

令和７年度　第８回常任理事会報告

日　時　令和７年１１月４日（火）１３：３０～１４：１５
会　場　リファレンス駅東ビル５階　会議室Ｙ－２（ＺｏｏｍによるＷｅｂ会議併用）
出席者　会長、副会長、常任理事、事務局１２名参加

議　題

１．前回議事録の確認

２．協議事項

- 〔１〕第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- 〔２〕令和8･9年度役員候補者の推薦手順と選任方法について
- 〔３〕令和8年度建築士事務所キャンペーン開催担当について
- 〔４〕いちご博多駅東三丁目ビルの賃料等の改定について
- 〔５〕令和7年度九州･沖縄ブロック協議会第1回会長会議について
- 〔６〕会誌「日事連」特集への執筆者選定、寄稿の依頼について
- 〔７〕日事連『専門家相談サービス』の開始と制度検討･採用について
- 〔８〕Design Review 2026 ご協賛のお願いについて
- 〔９〕保証期間終了に伴う電話機及び電話主装置の入替えについて
- 〔10〕12月支給事務局職員冬季賞与について
- 〔11〕その他

３．その他

- 〔１〕次回会議等日程
- 〔２〕その他

令和７年度　第３回理事会報告

日　時　令和７年１１月４日（火）１５：００～１６：５０
会　場　リファレンス駅東ビル５階　会議室Ｙ－２（ＺｏｏｍによるＷｅｂ会議併用）
理事会構成者数及び出席者数　理事会構成者数３１名　　出席者数２５名

議　題

１．審議事項

- 〔１〕新入会員の承認、退会会員の報告
- 〔２〕その他

２．協議事項

- 〔１〕令和7年度上半期会務、事業報告
- 〔２〕令和7年度上半期収支報告
- 〔３〕令和7年度中間監査報告
- 〔４〕建築士事務所キャンペーン関連報告
  - ･令和7年度建築士事務所キャンペーン進捗状況
  - ･令和7年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査結果
  - ･令和8年度建築士事務所キャンペーン開催について
- 〔５〕令和8･9年度役員候補者の推薦手順と選任方法について
- 〔６〕創立50周年記念実行委員会について
- 〔７〕賃上げに伴う職員給与改定について
- 〔８〕その他

３．報告事項

■〔 １ 〕県本部関係報告

① 令和7年秋の褒章の受章者について
② 第47回建築士事務所全国大会（新潟大会）等開催報告
③ 令和7年度研修ツアー開催報告
④ 令和7年度九州・沖縄設計4団体懇談会参加報告
⑤ 講習会、研修会関係実施報告、実施計画について
⑥ 委員会、部会開催報告
⑦ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
⑧ 年間スケジュール
⑨ その他

■〔 ２ 〕支部・地域会報告
■〔 ３ 〕日事連関係報告
■〔 ４ 〕その他

４．その他

■〔 １ 〕監事から本日開催の理事会についての総括
■〔 ２ 〕次回理事会開催日程について
■〔 ３ 〕その他

令和７年度　第９回常任理事会報告

日　時　令和７年１２月９日（火）１５：３０～１７：００
会　場　一般社団法人 福岡県建築士事務所協会事務局
出席者　会長、副会長、常任理事、事務局１０名参加

議　題

１．前回議事録の確認

２．協議事項

- 〔１〕令和8・9年度役員候補者の推薦手順と選任方法について
- 〔２〕令和8年秋の叙勲・褒章候補者及び建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について
- 〔３〕令和8年行政、関係団体新年挨拶廻りの実施について
- 〔４〕事務局、登録センター賃料等の改定相談への回答について
- 〔５〕インスペクションの促進について
- 〔６〕第48回建築士事務所全国大会（京都大会）宿泊に関するアンケート回答について
- 〔７〕高・専門学生コンペ入選者からの就職支援希望について
- 〔８〕建築倶楽部BIM推進協議会総会、システム部会、技術部会、実務部会開催について
- 〔９〕日事連組織強化支援事業（事業承継セミナー）実施について
- 〔10〕「管理建築士講習」会場講習の運営について
- 〔11〕令和8年度日事連建築賞応募締切日について
- 〔12〕日事連広報・渉外委員会からの令和8年度共同要望項目検討のためのアンケートのお願いについて
- 〔13〕友好団体新年会参加担当者決定について
- 〔14〕支部間交流の実施について
- 〔15〕業界新聞令和7年新春特集号広告掲載のお願いについて
- 〔16〕和みの会対象者について
- 〔17〕事務局、福岡県建築登録センター冬季休暇について
- 〔18〕その他

３．報告事項

- 〔１〕令和7年度建築士事務所キャンペーン開催報告
- 〔２〕令和7年度高・専門学生コンペ福岡市役所作品展示会開催報告
- 〔３〕講習会、研修会開催報告、実施予定について
- 〔４〕福岡県気候風土適応住宅の運用基準（案）の改正に関する検討会参加報告
- 〔５〕国土交通省九州地方整備局営繕部との打合せ報告
- 〔６〕福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- 〔７〕日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告
- 〔８〕日事連関係報告
- 〔９〕その他

４．その他

- 〔１〕次回会議等日程
- 〔２〕その他

10 各支部・地域会よりお知らせ

北九州支部からのお知らせ

令和７年度 第１回 幹事会議事録

日　時　令和7 年10 月8 日(水) 16:30
場　所　八幡東生涯学習センター尾倉分館 3F 体育室
参 加 者　高尾、金子、高崎、堀田、秋本、豊川、久松、望月、林、山口、高浜

◆ 1. 協議事項

1.児童絵画展について
▶ 進捗報告
・表彰式/令和7 年11 月8 日（土） COM CITY 7F 北九州市立 子どもの館 子どもホール
9：00～10：00 設営準備、10：00～12：00 表彰式
・作業分担/作業分担表を送付する予定
・賞品購入状況 受賞者62 名（各学年10 名×6 学年+支援学校2 名）
・入賞者に聴覚障害の方がいるため、手話者の依頼要

2.ゴルフコンペについて
・日 程/令和７年11 月28 日（金）8：00 スタート
会 場/福岡国際カントリークラブ【PGM】七又コース 宗像市朝町1470-1
5 組 セルフ（カートフェアウェイ乗入可で予約）
料 金/ 13,400 円＋ロッカー300 円＋参加費3,000 円、昼食付、表彰式は忘年会場にて
・カート乗り入れ利用料は1,100 円/人です。会議内であった方が良いとのことでしたので、ゴルフ場に　確認したところ、プレー費は13,400 円/人となります。

3.冬の忘年例会について
・日 程/ 令和7年11 月28 日（金）19：00　・会 場 / Bar Air 小倉北区浅野2-12-8
・料 金/ 8,000 円/1 人目、10,000 円/2 人目以降

4.建築キャンペーンの参加のお願い
日 程 / 令和7 年11 月12 日（水）
会 場 / コスメイト行橋 行橋市中央１丁目9-3

5.役員改選について
10月 立候補の案内メール（役員選考委員会の選出）
⇒11月 役員選考委員会（支部長、副会長の選出）
⇒12月 各役員選定及び組織図作成⇒１月 来年度の事業計画立案＆予算立案
⇒2月 県本部予算案提出 ⇒3 月 総会準備

◆ 2. 報告･その他

・10/3（金） 第４７回建築士事務所全国大会（新潟大会） ６社参加
北九州支部補助金 16,000 円×6 社＝96,000 円＜10 万円
・10/6、7 高校生専門学校生コンペ 予備審査及び審査会
・県本部住宅相談委員 住宅相談の結果を県に提出すること

◆ 3. 次回予定

10/ 8（水） 児童絵画展審査会13：00.17：00、第２回幹事会17：00.18：00
11/ 8（土） 児童絵画展表彰式 子どもの館 子どもホール
11/12（水） 建築キャンペーンin コスメイト行橋
11/28（金） 北九州支部ゴルフコンペ＆忘年例会
1/16（金） 建築六団体賀詞交歓会 クラウンパレス小倉
3/ 5（木） 16:00 幹事会、17:00 士業継承セミナー 第一小倉商工会館
4/ 3（金） 監査会
4/ 9（木） 常任幹事会
4/23（木） 令和８年度通常総会 ホテルニュータガワ

他、活動報告

・2025年11月10日：

令和7年度 第25回児童絵画展
（来場者164名）



・2025年11月19日：

役員選考委員会（8名出席）

・2025年11月28日：

ゴルフコンペ建事会
（福岡国際カントリークラブ
七又コース、5組18名参加）



・2025年11月28日：

冬の忘年例会（Bar Air、40名参加）

筑豊支部からのお知らせ

令和7年度　建築士事務所キャンペーン

■日　時　令和7年11月12日

■会　場　コスメイト行橋

　コスメイト行橋にて各支部のご協力をいただきまして令和7年度建築士事務所キャンペーンを無事開催することができました。

第一部では、講師の杉岡 世邦先生から「木挽棟梁のモノサシ～日本の森林は宝の山～」と題しまして、講演をいただきました。森林や杉材についてのお話は大変興味あることばかりで、あっという間の時間でした。



　第二部では、学生コンペの建築設計競技表彰式・作品講評会でしたが、高校生、専門学校生の若さ溢れる作品を拝見して感心させられることばかりでした。



　場所を移し料亭金龍で懇親会を行いました。日頃お会いする機会が少ない各支部の方と交流が出来、楽しい時間を過ごせました。

　今回のキャンペーンは、行橋市で開催の為、遠方よりご参加いただきまして、ありがとうございました。

福岡地域会からのお知らせ

賛助会研修バスツアーを開催いたしました

去る11月26日㈬、賛助会の研修バスツアーを開催いたしました。正会員・賛助会員・その他の参加者様、総勢30名で博多駅を出発。

今回は賛助会員である㈱平島様の西営業所（武雄市）を見学させていただきました。㈱平島様は金属屋根、壁等の外装材を自社で製造・販売されており、最新の設備と高い加工技術を皆さま興味深くご覧になられていました。

後半は武雄市図書館、武雄神社に。紅葉の中を散策してリフレッシュした後は博多に戻り、夕食会で一日を締めくくりました。今回もご参加頂きありがとうございました。









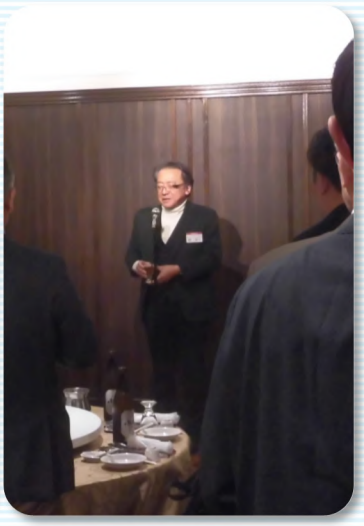


令和7年度 福岡地域会忘年会を開催いたしました

令和７年12月１８日（木）
福新楼（福岡市中央区今泉1-17-8 ）会員集会 18:00～　/忘年会 18:30～

福岡地域会の会員集会を福岡市中央区今泉の福新楼にて開催いたしました。資料をご覧いただきながら、皆様に今年度上半期の事業報告を行わせていただきました。

会員集会後は恒例の忘年会スタート。年の瀬の繁忙期にも関わらず今年も60名を超える方にご来所いただき、ありがとうございました。







県南支部からのお知らせ

県南支部「研修旅行」

11月8~9日,事業委員会の企画による「研修旅行」が行われ,会員12名,賛助会員4名そして北九州支部女性部会から4名参加頂き,あわせて20名にて広島に訪れました。

研修の目的の中心は「ひろしま国際建築祭」です。このイベントは建築で未来の街をつくり,こどもの感性を磨き,広島の名建築を未来へ継承することを目的に3年に1度開催される祭典です。

1日目は福山新勝寺 禅と庭のミュージアムにて藤森照信設計の「松堂」,彫刻家 名和晃平が主宰するクリエイター集団SANDWICHが手掛けた洸庭を見学し,広大な境内に拡がる禅庭を散策し点在するお堂や塔を巡ることが出来ました。

その後尾道まで移動し安藤忠雄設計の尾道市立美術館にてプリツカー賞を受賞している日本の建築家9人をフューチャーした企画展示を見学しました。展示にはスケッチやドローイング,模型など貴重な展示もあり興味深く鑑賞することが出来ました。



新勝寺 総門にて



尾道市立美術館



企画展示



洸　庭

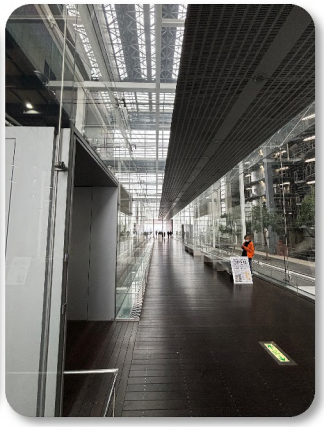
2日目は,坂茂設計の下瀬美術館を見学。海を臨む水盤に設けられたカラーガラスに覆われた可動の展示室には地元の造船技術が生かされていることに感心し,瀬戸内海の景観と一体となったランドスケープを含め「世界で最も美しい美術館」と称される建築を体現する事が出来ました。その後は広島市内に戻り谷口吉生設計の広島市環境局中工場を見学。ゴミ焼却場という負のイメージを大胆に覆した「エコリウム」は圧巻でした。

今回の研修旅行は広島の有名建築の一端に触れ,また瀬戸内特有の風土や文化を感じることが出来た大変有意義な研修旅行となりました。

そして年々参加人数が減少傾向のなか,他支部から参加頂き懇親を深めることも出来,今後の支部事業運営の在り方についても方向の一辺となる貴重な機会となりました。



下瀬美術館にて



中工場「エコリウム」

10 会員動静

新入会員のご紹介

事務所名　㈲高原建築設計事務所　一級建築士事務所　　福岡地域会に入会されました

■会務代表者：山田　理恵　　■所在地：福岡市南区西長住

事務所名　㈱TNFエンジニアリング　　福岡地域会に入会されました

■会務代表者：佐藤　繁樹　　■所在地：福岡市博多区博多駅前

事務所名　富岡一級建築士事務所　　福岡地域会に入会されました

■会務代表者：富岡　知也　　■所在地：宗像市三郎丸

会社名　井上商事㈱　　福岡地域会賛助会に入会されました

■担当者：齋藤　克彦　　■所在地：福井県福井市日之出

■営業種目：アルミバンドレスたてとい・軒とい、アルミ意匠笠木・見切・水切、アルミ手摺、免震・耐震用エキスパンジョイント、アルミ外装ノンシールパネル、アルミソーラーフレーム

会社名　㈱エコウッド　　福岡地域会賛助会に入会されました

■担当者：山口　稜司　　■所在地：北九州市若松区響町

■営業種目：木材・プラスチック再生複合材の製造および販売

12 役員さんの徒然雑記



理事　**加藤　義孝**　さん

さよなら真っ白な画面

最近、ニュースでもSNSでも建築確認申請図書の事前チェックまでもが「AI、AI」と騒がれていて、正直なところ、ちょっと乗り遅れているような感じをしてました。
AIを開発している企業まで「仕事が奪われる」なんて物騒な話も聞くし、なんだか難しそうだな……。そんな風に、AIに対して「正体不明のすごいもの」という、ちょっとした苦手意識と好奇心が混ざった複雑な気持ちを持っていました。今回、初心者向けの講習会があると聞いて、「まずは正体を知ってみよう」と思い切って参加してみることにしました。

まず感じたのは、AIが意外と「人間っぽい間違い方」をするということでした。これまでのコンピューターといえば、計算が得意で、寸分の狂いもなく正解を出す冷徹なものだと思っていました。でも、今流行っている「生成AI」は、これまでに読んできた膨大な文章をもとに、「次にくる言葉を予想してつなげているだけ」なのだそうです。つまり、たまに自信満々に嘘をつくこともあるし、完璧な神様ではないということです。講師の方がまだ世の中を知らないけど、こちらの質問や要求に一生懸命に答えようとする「天才の幼稚園児」と言っていたのが、すごく印象に残りました。そう思うと、なんだか急にAIが身近で、ちょっと愛嬌のある存在に思えてきたから不思議です。

講習会の中で一番盛り上がったのが、AIへの指示出し、いわゆる「プロンプト」の実習でした。最初は「美味しいカレーの作り方を教えて」と適当に聞いてみたのですが、返ってきたのはネットで検索すればすぐに出てくるような普通のレシピでした。

ところが、コツを教わってから「あなたは一流ホテルのシェフです。一人暮らしの学生でも、スーパーの安い肉を使って30分で作れる、絶品隠し味付きのレシピを教えて」と具体的に指定してみたところ、返ってきた内容が劇的に変わりました。隠し味に[実際にAIが提案した材料、例えばインスタントコーヒーなど]を提案されたときは、会場のあちこちから「おおー！」と驚きの声が上がるほどでした。

コツは、相手に「役を演じてもらうこと」と「状況を細かく伝えること」。これって、学校や職場のコミュニケーションと全く同じなんだなと気づきました。相手が人間でもAIでも、具体的に伝えないと良い仕事はしてくれない。当たり前のことかもしれませんが、AI相手にそれを実感できたのは、私にとって非常に大きな発見でした。

後半のワークショップでは、町興しイベントを題材としてAIに手伝ってもらう体験をしました。AIとやり取りをしてみたのですが、これが本当に驚きの連続でした。
自分でーから考えると何日もかかりそうなことが、AIに相談しながらだと、ものの20分程度で「これだ」という案がまとまりました。ポスターまで作ってくれて度肝を抜かれました。
もちろん、AIが出してきた案がそのまま全部使えるわけではありません。でも、真っ白な画面を前にウンウン唸っている時間を、AIが「とりあえずの叩き台」を出してくれることで大幅にショートカットできる。これがAIの本当の価値なんだなと、身をもって体験することができました。

AIにもいろんな種類があり文章作成が得意、画像を得意、検索が得意など用途に合わせて使い分けることも知りました。
もちろん、良いことばかりではありません。講習では、AIを使う上で絶対に気をつけなきゃいけない注意点もしっかり教わりました。一番大切なのは、「秘密を教えすぎないこと」です。AIに入力した情報は、AIが次の学習に使ってしまう可能性があるからです。会社の秘密や、友達のプライベートなことを安易に入力するのは絶対にNG。
また、AIはたまに「もっともらしい嘘（ハルシネーション）」をつくので、大事な情報は自分でちゃんと調べ直す「裏取り」が欠かせません。便利だからといって丸投げにするのではなく、最後の最後は人間である私が責任を持つ。この「道具を使いこなす側の責任感」は、これからAIと付き合っていく上で一番大切にしたいマナーだと強く感じました。

参加する前は「AIをどんなことに使えるのか」と思っていましたが、終わってみれば「AIを味方につければ、もっと毎日が楽で楽しくなるかも」というワクワク感に変わっていました。
これからは、文章下書き、エクセルの関数など積極的にAIに話しかけてみようと思います。何度聞き直しても嫌な顔をしない最高のパートナーとして、少しずつ仲良くなっていければいいなと思います。「難しそう」と食わず嫌いをしている人にこそ、「意外と気さくで頼れるやつだよ」と教えてあげたい。そんな風に思える、とても実りのある一日でした。

監事　藤本　孝行　さん

この1年を振り返って

『70年来の友の死』

昨年の12月に70年来の付き合いがある友人が他界しました。その友人と小学1年生の時に4，5人で、ままごとをしたのを思い出しました。貧乏だったこともあり、ままごとといえども境内になっていた木の実（ハゼの実）を口にしたところ、全身に発疹が。頭のてっぺんから足のつま先、口の中まで。次の日から10日間くらい学校を休むことに。その治療方法がすごい。今では考えられない方法でした。私は祖母に育てられていましたから、祖母の言うとおりにせざるを得なくて。


ハゼの実

さて、どんな方法だと思いますか？　ちょっと考えてみてください。
まず油揚げを火であぶって、全身に塗り付ける。塗り付けた後どうすると思いますか？
全部それを食べるんです。何枚食べたか思い出せません。今では、考えられない治療法でしょう！
正しい治療方法かどうか分かりませんが、75歳まで生きてます。（笑）

『トルコ旅行』 600年以上にわたるオスマン帝国の歴史探訪体験

5月に12日間の日程で行ってきました。成田からイスタンブールへの直行便です。イスタンブール空港到着後すぐ飛行機でイズミール空港へ。巡ったのはエフェソス古代都市遺跡散策と聖母マリア家観光、次の日は陸路クサダシ。パムッカレの石灰棚観光とヒエラポリス遺跡観光、空路アンカラへ。アナトリア文明博物館、アタテュルク、カッパドキアに2日滞在し、ギョレメ野外博物館、カイマクル地下都市入場等。

その中でも早朝4時出発の34人乗りの熱気球の乗船は、高度2,100mでの展望が素晴らしく、色とりどりの100球以上の熱気球の景色と眼下に見えるカッパドキアの町の全貌は壮観でした。


準備その1


準備その2


熱気球の乱舞


次々に飛行


無事帰還を祝して
搭乗員全員で乾杯

アゼルバイジャン大統領の経営するホテルでの宿泊も印象に残りました。首都イスタンブールでは、アヤソフィア・ブルーモスク・トプカプ宮殿・地下宮殿ファストトラック・バシリカの貯水槽等、何処も素晴らしい歴史を感じさせ、当時のオスマン帝国の偉業を感じるものばかりでした。

また強風の中のボスポラス海峡クルーズは結構大変なクルーズでしたが、何艘も観光クルーズで行きかう光景もまた味のある経験でした。

今思えば世界的に有名なトルコ風呂の入浴体験が出来なかったのが残念。


ブルーモスク


パムッカレの石灰棚


ベシクタシュ
オルタキョイ・モスク


ボスポラス海峡を背景に


イスタンブール
ベイオール魚市場

『ヘリコプターについて』

この投稿を書いているとき、阿蘇の方でヘリコプターが墜落したニュースが入ってきました。夏には知り合いの操縦するヘリが墜落しました。意気消沈しておりますが、シェアーしていたヘリコプターを個人で所有することになり、もう少し頑張ろう、頑張れる、と思っている今日この頃です。


万博開催前 機上から



まだ夢はあきらめてはないですが、社員にこの夢を引き継ぐことになるかもしれません！？

監事　廣田　栄作　さん

観光列車

私が今までに乗った観光列車を紹介します。

『ななつ星』





ＪＲ九州のクルーズトレイン、運行開始から三年めの2015年9月に乗車しました。水戸岡鋭治氏がデザインした７両の豪華な客車でした。この時は有田、佐世保、長崎、阿蘇、湯布院をまわる一泊二日のコースでしたが、南由布駅では30年前に乗った『ゆふいんの森号』とすれ違いました。クルーの細やかなおもてなしに加え、停車駅や沿線の大勢の人たちが手を振って歓迎してくださったのに大変感動し、これがきっかけで観光列車に興味を持つようになりました。

『ＳＬ人吉』『いさぶろう しんぺい』『はやとの風』







肥薩線が2020年の豪雨で不通となるまで、熊本・人吉間『ＳＬ人吉』、人吉・吉松間『いさぶろう・しんぺい』、吉松・鹿児島中央間『はやとの風』の三つの観光列車が接続していました。2016年の9月に熊本駅から乗り継いで嘉例川駅で『はやとの風』を下車するまで、一日に三つの観光列車を体験できました。

『四 季 島』





ＪＲ東日本のクルーズトレインで、2021年11月に上野駅から甲府、長野、会津若松をまわる一泊二日のコースに乗車しました。10両編成で展望車両もあり乗り心地も食事も最高でした。上野駅では駅長さんと記念写真を撮らせてもらいました。

『ふたつ星4047』

武雄温泉駅から江北、肥前浜、多良、諫早、長崎駅まで、３両編成の観光列車で2022年11月に乗りました。有明海 大村湾を眺めながら、ゆっくり３時間かけての運行で、３両のうち真ん中の車両はビュッフェ・ラウンジ車となっていました。





『指宿のたまて箱』

鹿児島中央駅と指宿駅を５５分で結ぶ特急観光列車です。錦江湾側の席は、湾を眺めることができるカウンター席となっています。列車のドアが開くと、浦島太郎が玉手箱を開けた時に出てきた白い煙のように、車体上部からミストが噴射されます。列車も海をイメージした内装でした。



『土讃線アンパンマン列車』

ＪＲ四国が運行している列車で、去年の正月に家族７人で岡山駅と高知駅を往復しました。４両編成の１号車は天井・座席・床・ドアにアンパンマンのキャラクターデザインが施された仕様となっていて、小さな孫たちがすごく喜んでいました。





『瑞　風』

今年の夏、ＪＲ西日本のクルーズトレイン『瑞風』に京都から下関まで乗車する予定です。とても楽しみにしています。